

かながわ服薬

フォローアップ強化プロジェクト  
参考事例の紹介

# 事例 1 : 入院をきっかけに睡眠導入剤が処方となったケース

## <患者情報>

女性 90歳代 独居（娘さんが市内在住）

## <処方情報>

体調不良を訴え入院となるが、入院中はあまり眠れず、相談をしたところベルソムラ 15 mg が処方となる。

退院後も眠れないことがしばしばあり、かかりつけの医療機関に相談。ブロチゾラムが処方となった。

退院後初めて、かかりつけ医療機関を受診し、娘さんと一緒に来局する。

# 来局時の会話

「夜がゆっくり眠れない」

「以前の薬ベルソムラはいまいち眠れなかった」

そこで今回はブロチゾラムが処方となる…

# 薬剤師

大丈夫かな???



# フォローアップの必要性の判断

処方変更があったため

独居

高齢者

退院してきたばかり



# 服薬状況を確認した際の患者の状態等

<連絡手段：電話>

ふらつきが強くなる

表現が難しいが **変** になった

<患者の状態を確認して薬剤師がとった行動  
：医師に相談するよう助言した>



# フォローアップした後の患者の状況等

＜医師の処方に変更された＞

ブロチゾラム→ベルソムラに戻る

＜副作用と思われる症状が改善した＞

ふらつきがなくなり、  
睡眠状況も良好である

＜フォローアップの期間：1か月未満＞



## 事例 2 : ご主人のインスリン自己注射が上手くできない事例

### <患者情報>

男性 80歳代 奥さんと二人暮らし  
市内に娘さん家族とお孫さんが暮らしている

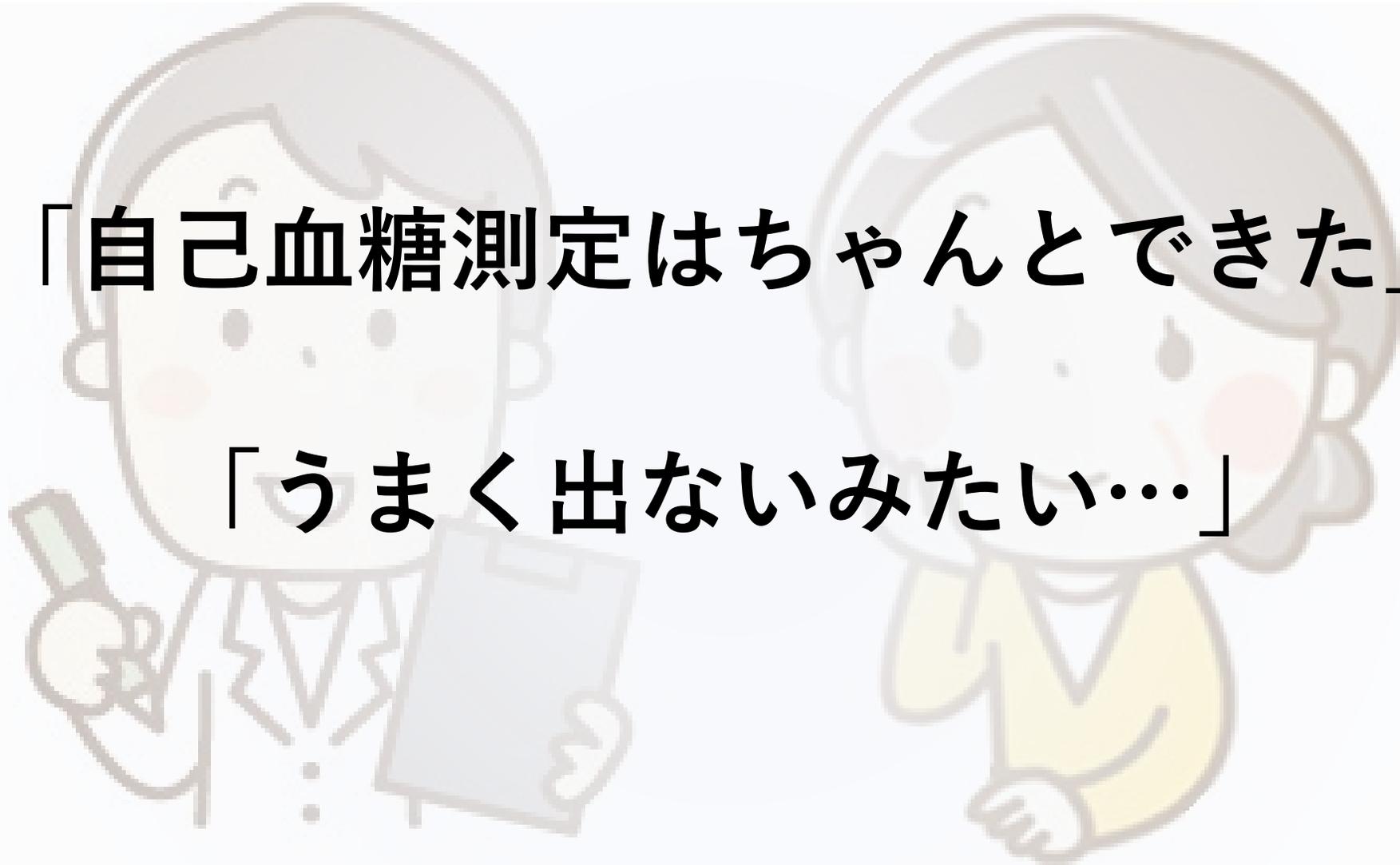
### <処方情報>

奥さんから薬局に電話があり、長年インスリン自己注射をやっているが、今朝の自己注射が上手くできないと相談あり。

# 来局時の会話

「自己血糖測定はちゃんとできた」

「うまく出ないみたい…」



# 薬剤師

大丈夫かな？？？



# フォローアップの必要性の判断

年齢

奥さんと二人暮らし

それ以外にも…



# 服薬状況を確認した際の患者の状態等

< 連絡手段：電話・来局 >  
消毒の手技に問題あり

インスリンの手技に問題あり

針の脱着に問題あり

< 患者の状態を確認して薬剤師がとった行動  
：薬の使用方法について改めて指導した >



# フォローアップした後の患者の状況等

<服薬状況が改善した>

適正な使用が  
できるようになった

<治療効果が向上した>

良好な血糖コントロールに  
繋がった

<フォローアップの期間：1か月未満>

